

第4回こどもの夢ひろば“ボレロ”が開催されました

2018年7月31日～8月1日仙台にて、第4回こどもの夢ひろば“ボレロ”が開催されました。日本を代表するピアニスト小山実稚恵さんが東日本大震災の復興を祈願し発案されたこのイベントは、子どもたちが音楽や科学など様々なジャンルを体験できるコーナーが設置されています。今年のテーマは「みつける」、メインイベントとなる「ボレロ大集合コンサート」で本学の学生がオーケストラで仙台の子どもたちと共演しました。子どもたちは広上淳一教授指揮オーケストラの伴奏で、小山さんとピアノを演奏したり、本学卒業生の竹田理央さんの振り付けで踊ったり、歌を披露しました。満場の聴衆は、子どもたちの将来と可能性に胸が膨らみ、会場はあたたかな感動に包まれました。

ピアニスト・主催 小山実稚恵さん

「ボレロという曲が規則性をもって徐々にひとつの輪になっていくというのが、このイベントのコンセプトにあうと思い、毎年演奏しています。音楽は、その時の音を聞いて合わせ、その瞬間をみつけていかなければならない。そこで今回は“みつける”というテーマで、演奏者、そして聴衆の方々に何かを見つけてもらいたいなと思いながら臨みました。演奏を一緒に聞いていて、毎回オケと合わせた時の音を子どもたちがどんどん見つけて行くというのが印象的でした。こうやって音楽でみんなが一体となるのが素晴らしいと感じています」

指揮 広上淳一教授

「子供たちの可能性の素晴らしさを実感した今回のコンサート。実は最初の曲で、合わせの時は楽譜の調が違っていたのですが、短い時間の中でぱっと音を合わせられるというのが子供の能力だとおもいます。今回は仙台の子どもたちで構成された合唱団のみなさん、本学の学生も加わったオーケストラとともに楽しいボレロを演奏し、盛り上がりました。本学には音楽の素晴らしさを伝えるために、積極的に協力・応援する心を擁する風土がありますが、教員としてひとりの卒業生としてその精神を誇りに思っています」

振り付け・踊り 竹田理央さん

「昨年に続きボレロ大集合コンサートにて振り付けとダンスを担当、そして人生初のミュージカルワークショップを任せて頂きました。子どもたちは練習の回数を重ねるごとにきらきらしてきて、とてもいい経験になったとおもいます。今年はオーケストラの中に、大学の仲間が居たことも心強く、共演出来て幸せでした。私の夢は女優として活動しながら、子ども達が出演するミュージカルを日本で創作したり、自己表現する場を提供出来る人。今回の経験を、今後の活動に活かしていきたいです。そしてこのイベントをもっと沢山のの方に知っていただきたいです」

